

ディープテック系スタートアップのCXOコミュニティ

「Startup CXO Meeting 柏の葉」を発足

柏の葉スマートシティから、世界を救うスタートアップの成長加速を支援

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 植田俊、以下「三井不動産」)は、世界の未来像をつくる街として「公・民・学」連携の街づくりを推進する柏の葉スマートシティで、「SPEED UP! START-UP! (スピードアップ・スタートアップ)」をコンセプトに、事業の成長加速を目指すディープテック系スタートアップ経営層のための招待制コミュニティ「Startup CXO Meeting 柏の葉」を立ち上げ、2月27日に柏の葉カンファレンスセンターにてディープテック系スタートアップを集めたキックオフイベントを開催しました。



本リリースのポイント

- ・ 柏の葉にてアーリー～ミドル期のディープテック系・IT系スタートアップを対象としたCXOコミュニティを発足
- ・ ディープテック系およびIT系スタートアップのCXO間での経営ノウハウやメソッドの共有を目的とし、街のアセットを活用したPoC・PoBと合わせ、ソフトとハードの両面からスタートアップをサポート
- ・ コミュニティアドバイザーに、Carbide Ventures ゼネラル・パートナー堀内健后氏が就任

本コミュニティは、事業化を目指すアーリー～ミドル期のディープテック系・IT系スタートアップを対象とし、スタートアップ経営者がスピードと戦略性を持って経営課題を乗り越えるためのヒントを、事業領域を横断した横のつながりや、元スタートアップ経営者のアドバイスなどから見つけることのできる場を提供します。

コミュニティアドバイザーとして、日米に拠点をもちアーリー期のスタートアップへ投資実績のある Carbide Ventures のゼネラル・パートナーである堀内健后氏が就任。堀内氏はトレジャーデータ株式会社の代表取締役も務めており、投資家と事業家の両面からスタートアップの経営ノウハウやメソッドをアドバイスします。スタートアップ企業それぞれが失敗から学んだ教訓や成功へのヒントを持ち寄り、成長を促進しあえるナレッジ共有の場を定期的に設けるほか、堀内氏を中心としてIT領域からの事業化のメソッドも共有します。

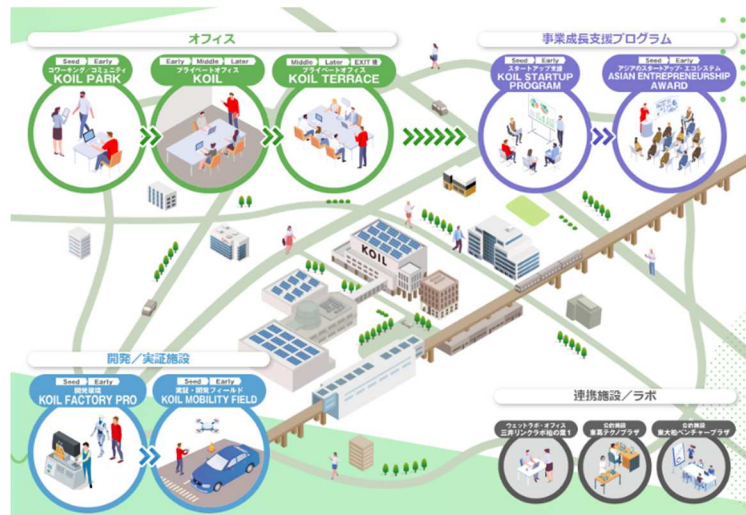
運営はスタートアップのコミュニケーション支援に10年以上の実績を持つ Story Design house 株式会社が担います。また、複数のスタートアップ経営者を経て、現在はエンジェル投資家とし主にIT系の多数のスタートアップ支援に取り組む伊藤光茂氏がアドバイザーとして参画します。

当社は、本取り組みを通じて、スタートアップに「場」と「コミュニティ」の提供を行い、この柏の葉スマートシティから世界を救うユニコーン企業の輩出を目指してまいります。

■本プロジェクト立ち上げの背景

これまで柏の葉スマートシティでは、コワーキングオフィス「KOIL」や実証フィールドである「KOIL MOBILITY FIELD」、国際的イノベーションアワード「Asia Entrepreneurship Award」(2012年～)、シード期のスタートアップ向けアクセラレータープログラム「KOIL STARTUP PROGRAM」(2022年～)、実証プロジェクトを受け入れる「イノベーションフィールド柏の葉」(2018年～)といったスタートアップの成長に適した環境整備を進めてまいりました。

こうした取り組みを進める中で、スタートアップから「企業間の横連携や先輩企業との繋がり、成長のキーポイントを押さえたきっかけづくりがほしい」といった声が出てきたことを受け、より柔軟かつ強力なサポート体制を整えていくため、今般「Startup CXO Meeting 柏の葉」を発足しました。



様々な実証フィールドやスタートアップの成長支援プログラム

■「Startup CXO Meeting 柏の葉」概要

スタートアップの経営課題解決のノウハウやメソッドの共有を行う「CXO Meeting」の開催や、PoC、PoBなどの実証プロジェクトの実現サポート、VCやパートナー企業の紹介・連携などを行い、スタートアップの成長促進を支援します。

「Startup CXO Meeting 柏の葉」の活動はこちら：https://note.com/kwh_startups

〈対象スタートアップ〉

- ディープテックやITをビジネスの核としているアーリー～ミドル期のスタートアップ
- プロダクトのプロトタイプがあることが望ましい
- 外部資本を入れてS字成長を目指していること(加入時点で資本金1000万円以上であること)

〈参加フロー〉

- 運営による書類・面談などによる審査
- 紹介者からの推薦

〈構成メンバー〉 ※順次追加予定

- スタートアップ一覧(50音順)

脱炭素に貢献するEV分野や石油・ガスに代わるエネルギー資源の開発、医療事故や交通事故の防止といった人命救済など、様々な分野で技術を活用した世界を救う事業に取り組んでいます。



algal bio

株式会社アルガルバイオ (<https://algalbio.co.jp/>)

藻類バイオものづくりプラットフォーム



株式会社 Jmees(<https://www.jmees-inc.com/>)
AIによる手術支援システムの開発・製造販売



株式会社 pyrenee(<http://www.pyrenee.net/>)
交通事故を防ぐ車載 AI アシスタントを開発



ホシュー株式会社(<https://hoshu.co.jp/>)
保守・メンテナンス支援プラットフォームの提供



株式会社 Medifellow(<https://medifellow.jp/>)
専門医によるリモート診療サービス



株式会社 Yanekara(<https://yanekara.jp/>)
電気自動車の充電システムの販売

- コミュニティアドバイザー: Carbide Ventures ゼネラル・パートナー 堀内 健后 氏
- アドバイザー: エンジェル投資家 伊藤 光茂 氏
- 運営: Story Design house 株式会社

<コミュニティアドバイザーからのコメント>



Carbide Ventures ゼネラル・パートナー 堀内 健后 氏

「スタートアップ成功の分かれ道は『事業化』です。そのポイントをどう掴んでいくのか、このコミュニティでは私自身がシリコンバレー発のスタートアップ、トレジャーデータの日本立ち上げメンバーとして経験してきた事業化のリアルを、BtoB の成功と失敗の経験から伝えていきたいと思います。そしてこの取り組みを通して、柏の葉に集積している世界を救うスタートアップが成長していくためのきっかけをたくさんつくっていきたくと思っています。」

<プロフィール>

コンサルティング会社、証券会社を経て、2013 年にトレジャーデータの日本事業立ち上げに参画。マーケティング・ディレクターとして、トレジャーデータの主力サービスであるデジタルマーケティング分野におけるカスタマーデータプラットフォームの PR から案件開拓までを担当した。2021 年 8 月にトレジャーデータの創業メンバー等と、シリコンバレーと東京に拠点を持つベンチャーキャピタル、Carbide Ventures を設立。日米を中心に、エンタープライズ SaaS などのスタートアップに投資し、スタートアップの企業価値向上に務める。現在、Carbide Ventures ゼネラル・パートナーならびにトレジャーデータ株式会社代表取締役を務める。

運営チームでは、本取り組みに共感し賛同してくれる方を随時募集しています。ご興味がある方は以下のご連絡先までお問い合わせをお願いいたします。

Startup CXO Meeting 運営事務局: cxomtg@storydesign-h.com

■ 柏の葉スマートシティについて(<https://www.kashiwanoha-smartcity.com/>)

つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」を中心とする柏の葉エリアでは、世界の未来像をつくる街「柏の葉スマートシティ」を目指し、公・民・学の連携で「環境共生」「健康長寿」「新産業創造」の 3 本柱で街づくりを推進しています。同エリアには、東京大学柏キャンパスや、千葉大学環境健康フィールド科学センター、国立がん研究センター東病院、産業技術総合研究所 柏センターなど国内有数の研究施設と、東葛テクノプラザや東大柏ベンチャープラザといった2つの公的インキュベーション施設があり、研究開発型のディープテックスタートアップが誕生しています。

「新産業創造」については、2014 年に KOIL の開設を皮切りに、コワーキングスペースの KOIL パークやデジタルフ

アプリケーション機器が揃う KOIL ファクトリー、コラボレーションを生み出すコミュニティや実証フィールド「イノベーションフィールド 柏の葉」※、開発途上のロボットやドローンなどのモビリティの開発をサポートするテストサーキット「KOIL MOBILITY FIELD」など、新たな事業を進める上で必要な環境を整えてきました。

また、2012 年より国内外の優秀なスタートアップを表彰する「Asia Entrepreneurship Award」や、2022 年よりシード期のスタートアップの成長支援を行う「KOIL STARTUP PROGRAM」など、街の環境を活用したスタートアップ支援を実施してきました。今回の CXO コミュニティの創設を通じ、スタートアップがより成長を加速し、ユニコーン企業の輩出へつながるよう、より一層の環境整備を進めてまいります。

※「イノベーションフィールド 柏の葉」について

柏の葉の街全体を実証プロジェクトのプラットフォームとして提供する取り組みです。これまでも様々な民間企業が地域の課題解決と連動した実証プロジェクトを実施しています。すでに AI・IoT 及びライフサイエンス・メディカルといった領域で実績があり、更に車の自動運転、MaaS、センシング、エネルギーといった幅広い範囲でも活用が広がっています。

〈これまでの実証実験の事例〉

●2023 年 7 月 3 日: KOIL MOBILITY FIELD にて民間初の送電コイルを埋設した、走行中給電可能な走行レーンを新設

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2023/0703/>

●2023 年 10 月 3 日: 柏の葉スマートシティにて日本初、電気自動車への走行中給電の公道実証実験を開始

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2023/1003/>



KOIL MOBILITY FIELD

■三井不動産グループの SDGs への貢献について (https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/)

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021 年 11 月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」、2023 年 3 月には「生物多様性」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】

- ・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」
<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>
- ・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」
https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/
- ・「グループ生物多様性方針を策定」
<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2023/0413/>



*なお、本リリースの取り組みは SDGs(持続可能な開発目標)における 3 つの目標に貢献しています。

目標 4 質の高い教育をみんなに
目標 8 働きがいも経済成長も
目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

